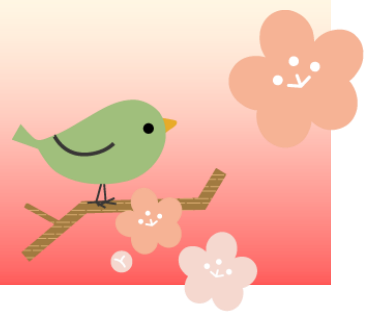


開封しました ほほえみポスト

2018年10月～12月 小豆沢病院利用委員会



2018年10月から12月までの3ヶ月間で、13通のご投書をいただきました。ありがとうございました(同じ趣旨のものはまとめさせていただいています)。

この内容は外来のディスプレイで放映しているほか小豆沢病院のホームページにも掲載しています。

ホームページでは過去約1年分をご覧いただくことができます。www.kenbun.or.jp

改善に関わる投書

●外来を受診された患者様から

いつも感じるのですが、会計が遅いですね。体調が悪くて病院に来ているのですから、できるだけ早くおこなっていただくようお願いいたします。

(回答)

体調が悪く、つらい思いをされているなか、会計でお待たせすることになり申し訳ありませんでした。会計での待ち時間が長ならないよう、改善に努めてまいります。

会計では一定時間(15分)以内に処理をおこなうことを目安にしています。長い時間お待ちになっているさいには、会計の職員にお気軽にお尋ねいただきますようお願いいたします。

●外来設置のほほえみポストへの投稿から

病院が思想や信条のスローガンを掲げるのは良くないと思う。不快に感じる。様々な人がいることを配慮すべきではないだろうか。九条ほか。

(回答)

小豆沢病院は、設立以来「無差別平等」の医療と福祉の実現を目指し、入院時には「差額ベッド料金」をいただかないことや、医療費の支払いに困ったさいに利用していただけるよう「無料低額診療事業」に取り組んでいます。

これらの取り組みをすすめられているのは、国民に主権があり、この権利を守るために国の権利を制約する「日本国憲法」を大切にしていること。なかでも、第25条にあるひとりひとりの生存権を守ることや、第9条の戦争の放棄による平和な状態であることなど、これらのことを大切と考えて行動しているからです。

小豆沢病院の所属する「医療法人財団 健康文化会」の名称も、日本国憲法 第25条「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」に由来しています。

国は社会保障の充実に向けて消費税を10%に引き上げるとしていますが、一方で高齢者の医療費の窓口負担増や介護保険から軽度者はずすことなど、医療や介護を受ける権利を損なう政策を計画しています。

医療と介護、社会保障の充実、安心して住み続けられる「まちづくり」をすすめていくためにも、引き続き、この理念を大切にしていきたいと考えています。理念は組織の根幹をなすものです。これに基づいて医療活動や社会活動を行っている点をご理解ください。

また、患者様や利用者様の思想・信条については、当然のことながら尊重いたします。

ご評価をいただいた投書

●入院された患者様から

とても良いことがありました。今年、平成最後にふさわしいことです。

私は病院の中でいろいろな事を考えて1日1日を過ごしているのですが、冬至のことを忘れかけていたのに、入浴のさい、お風呂にたくさんの柚子が入っていたのにびっくりしながらも、とても嬉しかったです。

病院の優しい気持ちがとても嬉しかったです。心にしみだし、体もポカポカと温まりました。ありがとう。本当にありがとう。みな様にとって良い年になることを願っています。

(※柚子湯への喜びの声は複数の方からいただきました。)

●入院された患者様のご家族から

入院ではたいへんお世話になり、ありがとうございました。自宅に帰れるものと本人も思っていたと思います。そこだけが残念でたまりません。生きているうちに帰らせてあげたかったです。

けれども、入院中はスタッフの皆さんがとても良くしてくださって感謝しております。本当にありがとうございました。最期を迎えたのがこちらの病院で良かったです。先生とスタッフの皆さんに心より感謝を申し上げます。

●入院された患者様のご家族から

入院は長い人生の間に2回ほどしかありませんが、看護師さんはじめ、みなさんの働き方に感謝したり、感心いたしました。

忙しそうに働いていらっしゃるのに、笑顔で優しい口調で話しかけられているのを、頭の下がる思いで拝見しておりました。皆さんの看護には感謝してもきれません。

●救急外来を受診された患者様のご友人から

友人が急病と連絡があり、あわてて、友人宅からタクシーで小豆沢病院の救急外来にかけつけました。受診のさいの支払いは、私たちの持ち合わせも少なく、この後の薬局での支払いや帰りのタクシー代の支払いで困っていたところ、入院会計係の菅原さんより「会計は保留にしておきますので、薬局へ行ってください。」と、機転を利かせた対応をしていただき、本当に助かりました。「この対応こそ小豆沢病院。」と、友人共に感激し、次の薬局に向かうことができました。菅原さんありがとうございました。

●救急外来を受診された患者様のご友人から

救急外来で対応していただいた先生や、入院となってから担当していただいた先生、リハビリをしていただいた職員の方に、しっかりと病状の説明をしていただきました。

担当された先生方はじめ、職員の皆さんにとっても優しく接していただきました。今後も診ていただきたいと思いました。

